

## 「全国縦断 地理空間情報活用促進セミナーin 前橋」の開催報告

NPO 法人全国 GIS 技術研究会主催の関東甲信越東海ブロック「地理空間情報活用促進セミナーin 前橋」が研究会員皆様のご協力のもと無事開催することができました。

【日時】 平成 21 年 8 月 25 日（火） AM10：30～PM4：00 （AM10：00 より受付開始）

システム展示は AM10：00 から PM4：30 まで

【会場】 ウエルシテイ前橋

【主催】 NPO 法人全国 GIS 技術研究会

【共催】 地理情報システム学会、（財）日本地図センター

【後援】 総務省、国土交通省国土地理院、群馬県、前橋市、群馬県議会、群馬県市長会  
（財）群馬県建設技術センター、（社）群馬県測量設計業協会、群馬県森林組合連合会  
群馬大学、前橋工科大学、上毛新聞社、日本工業経済新聞社

【参加人数】 官公庁各種団体 56 名、民間企業 65 名、実行委員他 11 名、講師 4 名  
以上、総数 136 名

【実行委員】 （有）和泉測量、（株）協和テクノ、（株）スタッフ、（株）ソッキテック（賛助会員）

【システム展示】 （有）和泉測量、（株）コート設計社、富士設計（株）、パスキン工業（株）  
第一測工（株）

以下は、画像で紹介させていただきます。

### 【プログラム】

#### 1、主催者挨拶（10：30～10：40）

NPO 法人全国 GIS 技術研究会  
副理事長 増沢延男 様  
（関東甲信越東海 GIS 技術研究会 会長）



#### 2、ご挨拶（10：40～11：10）

国土交通省国土地理院関東地方測量部  
部長 松村正一 様



3、基調講演（11:10～11:50）

題名：「群馬県県土整備部の GIS について」

群馬県県土整備部監理課建設政策室

政策係 主任 高橋祐一 様



昼食休憩

4、技術講演（13:00～14:40）

題名：

「地方自治体にとっての作業規程準則の改定について」

千葉県市川市企画部企画・広報行政担当

大場 亨 様



休 憩

5、活動報告（14:50～15:00）

題名：「NPO 法人全国 GIS 技術研究会の活動報告」

関東甲信越東海 GIS 技術研究会

群馬会員 （株）協和テクノ 殿村雅史



6、基調講演（15:00～16:00）

題名：「国の基本計画と地理情報標準について」

元地理情報システム学会会長、日本学会会会員

NPO 法人全国 GIS 技術研究会 顧問

奈良大学地理学科 教授 碓井照子 様



7、閉会挨拶

関東甲信越東海 GIS 技術研究会

群馬会員 （有）和泉測量 奥泉春夫



司会進行 関東甲信越東海 GIS 技術研究会  
群馬会員 (株)スタッフ 篠原 茂



【会場風景】



【システム展示風景】

第一測工 (株)

- 1、マップでわかる地域情報サイト  
『宇都宮マップ』
- 2、建築指導支援システム



パスキン工業 (株)

- 1、公園管理システム



(株)コート設計社

1、公園苦情管理システム



富士設計(株)

1、地図を使ったEメールコミュニティサイト



(有)和泉測量

1、河道地形変化モニタリングシステム



全体の様子

システム展示は、会場後方を利用しました



【懇親会風景】





以上、御報告させていただきます。

謝 辞 : 関東甲信越東海 GIS 技術研究会の総会(4/28)で「今年の縦断セミナーは群馬県で！」と決まってから早4ヶ月。初めは「もう後には下がれなくなった(泣) 本当にやるんだ~(汗) やるっきゃない(泣×2)」などと思っていましたが、今では本当にやって良かったとしみじみ思っています。こうして一応の成功裏に終えることが出来たのも増沢会長はじめ小堀事務局長や会員の皆様そして関係各位の暖かいご支援があったからこそ!と、群馬会員一同心から感謝しております。本当にありがとうございました。

私達群馬会員は、まだまだ未熟者ではありますが、今回のセミナーを機に少しでも群馬県における地理空間情報の活用促進と環境整備の一役を担えるよう邁進させていただくつもりです。どうか、今後とも皆様の暖かいご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、今回のセミナーで改めて「関東甲信越東海 GIS 研究会は、皆で支えあっている!」ということを実感いたしました。

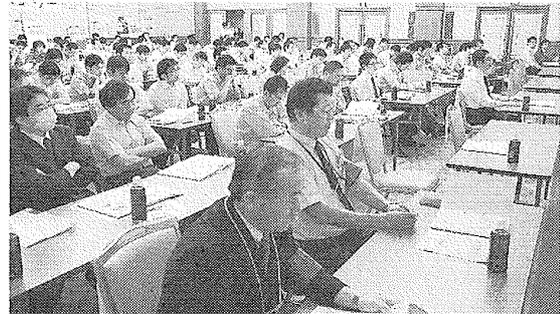
「まだまだ、GIS 産業は道半ば」、皆で力を合わせ大きな花を咲かせましょう! 皆様には、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

平成 21 年 8 月 28 日

群馬セミナー 実行委員長 奥泉春夫  
実行副委員長 殿村雅史  
実行副委員長 篠原 茂  
事務局 三森一人

# GISに理解深める

前橋 技術研究会がセミナー



地理情報システムについて学んだセミナー

要 NPO全国GIS技術研究会は25日、前橋市古市町のウエルシティ前橋で「地理空間情報活用促進セミナーin前橋」を開いた。国土地理院関東地方測量部の松村正一部長らが講演、参加者約120人が地理情報システム（GIS）の現状や将来性について認識を深めた。

GISは電子的な地図の総称。具体的にはパソコンや携帯電話、カーナビゲーションなどの地図を指す。紙媒体と異なり、ユーザー同士が情報を共有できることが特徴。同会はGISの普及を目指して全国の測量企業など約150社で構成。県内は和泉測量、協和テクノ、スタッフ、ソッキテックが参加している。セミナーで松村部長は、基本測量に関する法改正の動きなどを紹介。「鮮度が良く高度な地図情報を表示するには、紙から電子への移行が不可欠」と強調した。

目 10人。申し込みまぎや

コシダカ	1552	▼79
ニッパンR	97	▼3
(大証ヘラクレス)		
JIN	135	▲4
免疫生研	3040	▼120
(大証セントレックス)		
やすらぎ	285	▼14

# 県内外から約130人参加

## GIS全国セミナー開催

### NPO全国GIS技術研



増沢副理事長

GISのセミナーで、県内外のコンサル企業のほか、行政職員ら約130人が駆けつけた。

は39社が参加している。全国縦断セミナーは8回目を迎え、今年はずで九州ブロックで開催しており、群馬県での開催が2ブロック目になる」と説明し、「GISはなかなか浸透しなかったが、現在では広く活用されるようになり、行政はもちろん業界にも認知してもら

えるようになってきた。昨年度は全国測量設計業協会連合会と技術提携し、全測連が全国的に実施したJPGISの講習会に当NPOも講師として招かれた。我々も業界の皆さんに認めてもらえ

た。長い時間になるがしっかりと勉強してほしい」と呼びかけた。セミナーでは、国土地理院関東地方測量部の村正一部長から現在のGISの状況などについて説明があったほか、基調講演として群馬県土整備部部長の川瀬から「GISの活用報告があり、最後に基調講演として同NPOの顧問を務める奈良大学地理学部の確井照子教授から「国の基本計画と地理情報標準について」講演が行われた。確井氏は、第1回目の全国縦断セミナーから全ブロックで講師を務めており、冒頭、始めた頃比べて、GISもかなり進んだ印象がある。大きく見ると第2ステップに入ったのではな



確井教授

## 企業OBの役割講演

### 新現役スキルアップセミナー



下田氏

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ



多数の参加者が駆けつけた

## 矢場工区23年度完成へ

### 前橋長瀬線B/P 促進期成同盟会 通常総会開く



新井会長

前橋長瀬線バイパス促進期成同盟会(新井利明会長)は25日、平成21年度通常総会を藤岡市役所大会議室で開催した。地権者らも参加する中、今後の同バイパス整備促進要望を実施していく事業計画案などが承認された。

長は「前橋長瀬線バイパス事業は急ピッチで進んでいる。藤岡市にとって重要な動脈。皆様のご理解をいただき、少しでも早く進むことを願う」とあいさつした。

来賓祝辞で藤岡管内選出の新井雅博県議は「関係者、地権者に感謝の意を表し、24年度で確実に終わらせるために、県担当職員には誠意をもつて自分事のように用地交渉にあたってほしい」と要望。県土整備部の川瀬部長は「今年、藤岡2期工区L850mの用地買収にあたっては、24年度の開通を目指して頑張っていく」と話した。



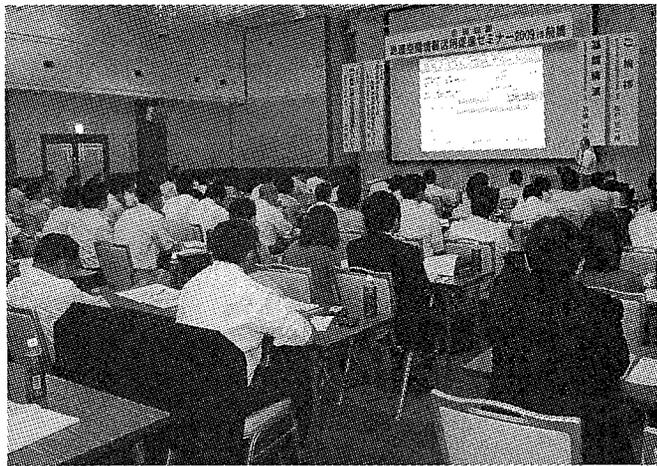
川瀬部長

議事では事業計画案など全議案が満場一致で承認された。役員改選も審議され、新井会長の続投が決まった。

議事後、同バイパス事業の進捗状況について担当する県藤岡土木事務所の福田和明所長が説明。福田所長は「今後にも要望活動を行っていく

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ



本県を会場に開かれたセミナー



松村部長

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ



杉山所長

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ

「新現役スキルアップセミナー」が25日、前橋商工会議所内で開かれた。当日は、群馬工業高等専門学校地域連携テクノセンター長で同校機械工学科教授の下田祐紀氏が駆けつけ、「中小企業の課題とシニア世代・企業OBの役割」と題して講演を行った。さらに、新現役事例発表や同事務局の現在の活動内容や今後の展開についても発表され、第2部として開かれた交流会では、参加者らが欲談しながら情報交換するなど、充実した時間を過ごした。下田氏は、現在の若手や中堅社員の特徴などを説明。そこから、評判の悪いOBの指導方法について、できないことを要求したり、問題点を指摘してもフォローがないなどとし、一方の喜ばれ